先端医療と看護	３年・後期	１単位	准教授　片貝智恵
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34121043

１．授業のねらい・概要

先端医療とは何か，どのような意味・問題点があるのか，また先端医療を必要とする対象への看護実践に必要な基礎知識について学ぶ。

２．学修の到達目標

１．先端医療とは何かとその問題点が理解できる。
２．先端医療を必要とする患者・家族の特徴を理解できる。
３．先端医療における看護の役割を理解できる。
４．興味ある先端医療についての研究レポートをまとめる。

３．授業の進め方

講義，研究レポート作成

４．授業計画（講義）

１．先端医療とは何か（片貝智恵）
２．先端医療の問題点（片貝）
３．先端医療を必要とする患者・家族の特徴（片貝）
４．先端医療における看護の役割（片貝）
５．研究レポート作成の手順，主題を決め資料を集める（片貝）
６．アウトラインの発表（片貝）
７．研究レポートの構成，執筆（片貝）
８．研究レポート要旨の発表（片貝）

５．成績評価の方法・基準

評価は，研究レポート・平常点（100%）で総合的に評価する。

６．テキスト・参考文献

必要に応じて随時紹介する。

７．準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲について，1時間の予習を必要とする。

８．受講上の留意事項

新聞やニュースなどで報道される先端医療に常に注意をはらい，自分自身が探求したいテーマを探しておくこと。

９．課題に対するフィードバックの方法

試験終了後，口頭または掲示で解答や解説を周知する。

10．卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

選択科目である。

11．実務経験のある教員等による授業科目

医療機関における看護師としての実務経験を活かして，講義を行う。